

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	指定文化財保存事業	青梅市	4,400,000	4,400,000	総事業費 9,069,000

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	指定文化財保存事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	青梅市	
交付金事業実施場所	青梅市御岳山	
交付金事業の概要	青梅市の指定文化財の修復作業のために武蔵御嶽神社拝殿・弊殿漆塗り替え修理を実施します。	
総事業費	9,069,000 交付金充当額	4,400,000
交付金事業の成果目標	うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000
交付金事業の成果指標	<p>指定文化財保存事業は、青梅市内に存在する指定文化財に対し、これらの保存および修理事業にかかる経費に対して所有者の負担を軽減するために補助するものであります。青梅市は指定文化財のうち、保存の修理補修が必要なものに対し、必要度緊急度に応じて実施をしております。青梅市の指定文化財である武蔵御嶽神社においては、拝殿・幣殿の漆彩色の褐色が著しいことを受け、平成29年度に12年に1度の酉年にのみ行うお祭り（式年大祭）の実施にそなえて、拝殿・幣殿の漆塗り替え修理を平成27年度、平成28年度の2か年で実施するものです。本事業を実施することで、本市に数多く存在する国宝を始めとする文化財、天然記念物や史跡など、有形・無形の貴重な文化財を後世に引き継ぎ、市民が地域の歴史に触れ、郷土を愛する心を育むことが期待されるところに、地域資源としての価値の維持・向上が図られます。</p> <p>武蔵御嶽神社は、有数の文化財であるとともに、御岳山という青梅市の観光資源の中心であり、その保存・修繕は、文化財の保存の意味だけでなく、観光資源、地域の魅力向上に資するものであります。武蔵御嶽神社では平成29年度に12年に1度の酉年にしか行われないお祭りである式年大祭が斎行されます。この重要な大祭に向け、武蔵御嶽神社の塗り替え修理を実施・完了し、神社の価値および魅力の向上を図るとともに、御岳山を訪れる観光客数の増加を目標とします。</p> <p>観光客が利用する御岳山へ向かうケーブルカー（御岳登山鉄道）の平成29年のゴールデンウィーク中の利用者数41,300人以上（平成28年実績：41,246人）</p>	

御岳山を訪れる観光客数の増加を成果指標としたことから、観光客が利用する御岳山へ向かうケーブルカー（御岳登山鉄道）のゴールデンウィーク期間中の利用者数を調査しました。平成29年度の利用者数は41,449人であり、平成28年度の41,246人に比べて、203人増加しました。地域資源の価値および魅力の向上が図れたことで、前年より御岳山を訪れた観光客が増加したことから、目標が達成されたものと評価します。

交付金事業の成果及び評価

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
補助金の交付	補助	宗教法人武蔵御嶽神社	9,069,000

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

なし

交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度

無し

(備考)

- (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用率並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
- (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合については、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
- (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。